

家計診断

海外旅行が好きで為替に関心 100万円を米ドルで運用したい

相談

35歳女性、独身です。海外旅行が好きで、欧米やアジアなど多くの国を訪ねています。時期によって為替レートが動き、旅行代金や買物の費用が大きく変わると感じることがよくあります。現地通貨に対して円高ならいいのですが、円安になると、とても割高に感じます。そういう意味で外

貨建て投資に対する関心が高まっています。うまくすれば旅行費用が増やせるのではないかと思っています。預金の100万円を米ドルで運用し、1年後に米国で長めに滞在したいのです。適切な投資タイミングをとらなければならぬのか、どんな金融商品が最も有利か、教えてください。

外貨建て投資は為替市場で取引をします。このため、株式市場と同様、投資のタイミングを考えて売買しても、常にびたりと予想が的中することはない、当たったり外れたりを繰り返すものです。ただし海外旅行は外貨建ての商品を購入するようなのですから、個人として購買力を高めるために外貨を常に持っておく発想は、これからの日本人にとって重要なことだと思えます。

相談者は「円安になると割高に感じる」とのことですが、海外旅行費用だけでなく、円安になると割高になるものがほかにもたくさんあります。

例えばガソリンの元である原油は米ドルで取引されているので、原油価格自体が上がっていきなくても、円安になると円ベースの原油価格が上昇します。私たちの身の回りには石油を原料にしたモノがあふれているため、幅広くモノの

一定割合を外貨で ■ 定額を長期積み立て

値段が上がり、個人としては購買力が低下するのです。もちろん、円高になれば逆に割安に感じて購買意欲は高まるのですが、日本経済は円高になると企業収益が伸び悩み傾向があり、その結果、給料やボーナスが減ることもあるので、円高を手放しで喜ぶわけにはいかないのです。

そこで外貨建て投資は、円安が円高かとタイミングを計って短期的に売買するのはなく、金融資産のうち常に一定割合の外貨を保有しているという状態が、個人にとっては望ましいと思われま

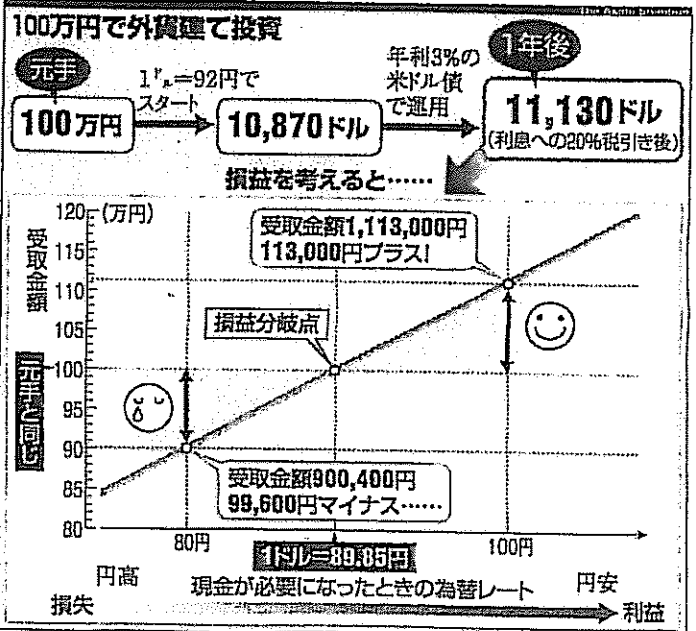
す。考えるべきは金融資産全体に対する外貨の比率です。最終的に金融資産に占める外貨の比率をどのくらいにするか、今後のライフプランによって考え方は異なります。通常なら20〜30割程度、海外でのロングステイを考える方なら半分程度をお勧めします。次に通貨の選定です。基本は米

ドルとユーロで、そのほか豪ドルも一考します。南アフリカランド、ブラジルレアルなどの新興国通貨は変動が大きくリスクが大きいので、購入しても少額にとどめメインの外貨とはしません。

最後に金融商品の選定です。候補は①外貨預金②外貨MMF③外国債券や外債ファンド④外国株式や外株ファンド⑤FX（外国為替証拠金取引）……と多岐にわたります。番号が下るにつれ、より注意が必要になる商品になります。

相談者が考えている100万円の運用については、例えば米ドルの運用については、例えば米ドル債を使って試算してみました。参考。

損益分岐点となる1ドル89・85円より円安になれば、ドルベースの利金と為替差益で円換算の購買力が増えます。しかし、円高になって外貨に換えると為替差損が発生します。ただし外貨のまま使う資金については為替変動を過度に



FPAアソシエイト&コンサルティング
ファイナンシャルプランナー

福田 啓太